

担当講座	緩和医療学科	問合せ先	緩和医療学科
分野責任者	木村 祐輔 特任教授	連絡先	緩和医療学科医局（内線2013）
担当教員	木村 祐輔 特任教授、鴻巣 正史 講師		
人材育成の 基本理念	がん治療が高度に進歩し複雑化する中で、実際に治療を受ける患者やその家族が抱える、身体的、心理社会的、あるいはスピリチュアルな諸問題に対応する、全人的な支援体制の構築が求められている。本講座では、これらの諸問題に適切に対応しうる緩和ケアに精通した指導的医療者育成を目標とする。		
主な研究内容	がん治療を支援する緩和ケアに求められるものは、患者・家族あるいは地域によって様々であり、十分な支援を行うためには、多くの専門職からなるチーム医療による対応が不可欠である。本講座では、緩和ケアを含めた、がん治療全般に対する知識、技術、ならびに地域医療連携についてチーム医療の重要性とともに、チームの一員としての各専門医療分野の役割について修得し、各種認定資格（がん治療認定医、緩和薬物療法認定薬剤師等）の取得を学術的に支援する。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	がんの基礎科学ならびに疾患毎の治療法の概要を理解し、緩和ケアについての高度な知識・技術を獲得するとともに、実践的演習を通じて、チーム医療を構成する各職種の専門性を理解し、適切なコミュニケーション、情報の共有、およびチームマネジメントの手法を身につけることで、包括的がん医療における各専門医療者としての役割を果たすことができるようになる。	1,2,4,6	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。	医学概論	
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。	特別研究Ⅰ・Ⅱ	
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる。	特別研究Ⅰ・Ⅱ	
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる	多職種連携チーム医療	
	(5)次世代の育成に貢献できる	特別研究Ⅰ・Ⅱ	
	(6)緩和ケアについて、その理念、目的、意義について理解する。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学総論、患者支援プログラム実習	
	(7)全人的な“痛み”を理解し、その評価方法を修得する。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学各論Ⅰ、患者支援プログラム実習	
	(8)患者および家族とのコミュニケーション方法を修得し実践する。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学各論Ⅱ・Ⅲ、患者支援プログラム実習	
	(9)がん性疼痛（体性痛、内臓痛、神経障害性疼痛）の機序を理解し、対応方法を修得する。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学各論Ⅱ・Ⅲ、患者支援プログラム実習	
	(10)がん治療経中に出現する多彩な症状（呼吸困難、倦怠感、嘔気、浮腫など）の機序とそれぞれの対応方法を修得する。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学各論Ⅱ・Ⅲ、患者支援プログラム実習	
	(11)がん治療経過中に出現する精神的ストレス、不安、抑うつに対する診断、対応方法を修得する。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学各論Ⅱ・Ⅲ、患者支援プログラム実習	
	(12)遺族ケアの実際を理解し実践する。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学各論Ⅱ・Ⅲ、患者支援プログラム実習	
	(13)がん治療に関わる多職種(医師、看護師、薬剤師、MSW、臨床心理士:ほか)それぞれの役割について理解し、協調した活動が実践できる。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学各論Ⅱ・Ⅲ、患者支援プログラム実習	
	(14)緩和ケアにおける地域リソースの実際を理解し、円滑な地域連携を実践する。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学各論Ⅱ・Ⅲ、患者支援プログラム実習	
	(15)臨床の場において緩和ケアの知識・技術を理解し、臨床の場における実践力を修得する。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学各論Ⅱ・Ⅲ、患者支援プログラム実習	
	(16)患者の療養の場について、患者・家族の視点に立ち実践する。	緩和医療学基礎修練1~4、緩和医療学各論Ⅱ・Ⅲ、患者支援プログラム実習	
	(17)各臓器における悪性腫瘍診断のプロセスと治療の基礎を理解し説明できる。	臓器別腫瘍診断・標準治療学演習	
(18)悪性腫瘍に対する治療（特に外科的治療）の基本を理解し説明できる。	悪性腫瘍の管理と治療概論		
資格取得等			
履修に関する 情報	履修申請の際には事前相談に応じる。社会人大学院生など、勤務等で講義に出席できない場合は、日程の調整に応じる（問合せ先：緩和医療学科 木村祐輔）		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	1年	演習 緩和医療学基礎修練1	前期	30コマ	4	20単位	※20単位以上の取得可
	1年	演習 緩和医療学基礎修練2	後期	30コマ	4		
	2年	演習 緩和医療学基礎修練3	前期	30コマ	4		
	2年	演習 緩和医療学基礎修練4	後期	30コマ	4		
	1・2年	演習 臓器別腫瘍診断・標準治療学演習	通年	8コマ	1		
	1・2年	講義 悪性腫瘍の管理と治療概論	後期	15コマ	2		
	1年	講義 緩和医療学総論	通年	8コマ	1		
	1年	講義 緩和医療学各論Ⅰ	通年	8コマ	1		
	1年	講義 緩和医療学各論Ⅱ	通年	8コマ	1		
	1年	講義 緩和医療学各論Ⅲ	通年	8コマ	1		
	2年	実習 患者支援プログラム実習	通年	20コマ	1		
特 別 研 究 完	必 修	1年	特別研究Ⅰ（中間審査）	通年	15コマ	4単位	
	2年	特別研究Ⅱ（論文作成）	通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

緩和医療学

コード	MM12231010				MM12231020				MM12231030				MM12231040			
科目	緩和医療学基礎修練 1				緩和医療学基礎修練 2				緩和医療学基礎修練 3				緩和医療学基礎修練 4			
担当者	木村祐輔特任教授、鴻巣正文講師				木村祐輔特任教授、鴻巣正文講師				木村祐輔特任教授、鴻巣正文講師				木村祐輔特任教授、鴻巣正文講師			
会場	緩和医療学科医局				緩和医療学科医局				緩和医療学科医局				緩和医療学科医局			
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	前期30コマ	配当年次	1	回数	後期30コマ	配当年次	1	回数	前期30コマ	配当年次	2	回数	後期30コマ	配当年次	2
主な授業内容	緩和ケアの初歩的知識				緩和ケアの基礎的知識				緩和ケアの専門的知識				緩和ケアの発展的知識			
教育成果	緩和ケア病棟・緩和ケアチーム活動を通じて、緩和ケアの初歩的知識・技術を理解し実践できる。				緩和ケア病棟・緩和ケアチーム活動を通じて、緩和ケアの基本的知識・技術を理解し実践できる。				緩和ケア病棟・緩和ケアチーム活動を通じて、緩和ケアの専門的知識・技術を理解し実践できる。				緩和ケア病棟・緩和ケアチーム活動を通じて、緩和ケアの発展的知識・技術を理解し実践できる。			
S 目 到 B 標 達 O	分野の達成目標 6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16				分野の達成目標 6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16				分野の達成目標 6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16				分野の達成目標 6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 講義では、担当教員とのディスカッションを重点的に行う。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	担当教員とのディスカッション内容を踏まえて、「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書																

コード	MM12231050				MM12231060				MM12231070				MM12231080			
科目	臓器別腫瘍診断・標準治療学演習				悪性腫瘍の管理と治療概論				緩和医療学総論				緩和医療学各論 I			
担当者	板持 広明 教授				肥田 圭介 教授				木村祐輔特任教授、鴻巣正文講師				木村祐輔特任教授、鴻巣正文講師			
会場																
区分等	区分	演習	単位	1	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1
	回数	通年8コマ	配当年次	1・2	回数	後期15コマ	配当年次	1・2	回数	通年8コマ	配当年次	1	回数	通年8コマ	配当年次	1
主な授業内容	臓器別がん治療の基礎知識				各臓器別悪性腫瘍の標準的治療法				緩和ケアの初歩的知識				緩和ケアの専門的知識			
教育成果	臓器別各種がんの治療経過中に出現する症状を理解し、多職種と協調した対処方法を述べることができる。				各臓器別の悪性腫瘍に対する各種治療（手術治療、放射線治療、化学療法、免疫療法等）の適応・目的を知り、それぞれの合併症、副作用ならびに対処方法を説明できる。また主な再発形式と再発時の治療について説明できる。				緩和ケアの歴史、定義の変遷を理解し、全人的ケアの意味、必要性を論じることができる。				悪性腫瘍など、生命を脅かす疾患に罹患した患者とその家族の全人的苦痛を理解し、苦痛緩和の知識・方法を述べることができる。			
S 目 到 B 標 達 O	分野の達成目標 17				分野の達成目標 18				分野の達成目標 6				分野の達成目標 7			
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 講義では、担当教員とのディスカッションを重点的に行う。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書																

●各科目の授業計画

緩和医療学

コード	MM12231090				MM12231100				MM12231110							
科目	緩和医療学各論 II				緩和医療学各論 III				患者支援プログラム実習							
担当者	木村祐輔特任教授、鴻巣正文講師				木村祐輔特任教授、鴻巣正文講師				木村祐輔特任教授、鴻巣正文講師							
会場	緩和医療学科セミナー室				緩和医療学科セミナー室				緩和医療学科セミナー室							
区分等	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1	区分	実習	単位	1				
	回数	通年8コマ		配当年次	回数	通年8コマ		配当年次	回数	通年20		配当年次	2			
主な授業内容	緩和ケアの専門的知識				緩和ケアの発展的知識				患者支援プログラムについての知識							
教育成果	悪性腫瘍以外の疾患（心不全、呼吸不全、神経難病など）における患者・家族の苦悩を理解し、全人的援助とは何かについて論じることができる。				現代の超高齢化社会におけるアドバンスケアプランニングの意義と実践方法を理解し説明できる				がん患者の療養支援を通じて、全人的患者支援プログラムの意義、実際を説明できる。							
SBO到達	分野の達成目標 7,8,9,10,11,12,13,14,15,16				分野の達成目標 7,8,9,10,11,12,13,14,15,16				分野の達成目標 6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16							
特記事項	各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 講義では、担当教員とのディスカッションを重点的に行う。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	担当教員とのディスカッション内容を踏まえて、「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

コード	MM12239010				MM12239020											
科目	特別研究 I				特別研究 II											
担当者	各指導教員				各指導教員											
会場	各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定											
区分等	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2								
	回数	通年15コマ		配当年次	回数	通年15コマ		配当年次	2							
主な授業内容	・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・中間審査実施				・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識 ・論文作成 ・最終審査の準備											
教育成果	生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 1年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終審査に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成> 2年次12月までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。											
SBO到達	分野の達成目標 (2) (3) (5)				分野の達成目標 (2) (3) (5)											
特記事項	中間審査の詳細は、「中間審査の手引き」を参照。															
評価方法	①受講票 ②中間審査結果				①受講票 ②学位申請論文の提出											
講義日程																
教科書参考書																

●時間割

緩和医療学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20		緩和医療学基礎修練1	緩和医療学基礎修練1	緩和医療学基礎修練3	緩和医療学基礎修練3	基礎科目
2 限	10:30~12:00	特別研究 I・II					
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10		患者支援プログラム実習				
5 限	18:00~19:30	緩和医療学総論	緩和医療学各論 I~III	緩和医療学各論 I~III	緩和医療学各論 I~III	緩和医療学各論 I~III	
6 限	19:40~21:10	緩和医療学総論					
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20		緩和医療学基礎修練2	緩和医療学基礎修練2	緩和医療学基礎修練4	緩和医療学基礎修練4	基礎科目
2 限	10:30~12:00	特別研究 I・II					
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10		患者支援プログラム実習				
5 限	18:00~19:30	緩和医療学総論	緩和医療学各論 I~III	緩和医療学各論 I~III	緩和医療学各論 I~III	緩和医療学各論 I~III	
				悪性腫瘍の管理と治療概論		悪性腫瘍の管理と治療概論	
6 限	19:40~21:10	緩和医療学総論					

※「臓器別腫瘍診断・標準治療学演習」は担当教員に確認してください。

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						